

病床機能転換概要報告書

1 病院名：医療法人社団彩優会 栗橋病院

2 所在地：埼玉県久喜市小右衛門 714-6

3 病床機能転換概要

転換前 病床機能区分	転換後 病床機能区分	転換 年月
急性期 (54)	急性期 (54)	—
慢性期 (60)	急性期(60) → 回復期(60)	2023年9月 → 2024年3月

<病院全体>

転換前		転換後	
許可病床数		許可病床数	
(病床の種別)	一般 54床	(病床の種別)	一般 114床
	療養 60床		療養 床
(病床機能別)	急性期 54床	(病床機能別)	急性期 54床
	地域包括ケア 床		地域包括ケア 60床
	回復期リハ 床		回復期リハ 床
	療養 60床		療養 床

4 提供する医療の内容

【転換前】

幸手市にて内科、整形外科の患者を中心に急性期の入院を受け入れ、他急性期医療機関からの療養目的の入院患者を受け入れておりました。

【転換後】

療養病床を一旦一般床に転換し、その後(2024年3月予定)地域包括ケア病床とすることにより、久喜市栗橋地区唯一の病院として救急を含むある程度の急性期に対応しつつ、地域包括ケア病床にて退院の準備を促し、自宅または施設へ円滑に帰れるようにいたします。

長期に療養が必要な患者はグループを含め近隣の医療機関や福祉施設と連携を図ってまいります。

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

長年、済生会栗橋病院が中核病院として地域医療を担っておりましたが、加須市へ移転したことにより久喜市栗橋地区には大きな医療の空白地区ができてしまいました。

当院は、この大きな医療の穴を少しでも埋めるべく久喜市栗橋地区の唯一の病院として地域住民が病気となった場合、救急を含め急性期を担える病院として地域医療を支え、地域包括ケア病床にて長期療養が必要な患者を含め退院の準備を行い、在宅への復帰を促すことにより地域に根付いた医療に貢献できるものと考えております。

○新たに担う役割

高齢化がさらに進む中、自宅での急な体調不良や転倒転落により救急を含む急性期を担う病院が地域には必要であり、急性期を越え自宅復帰にはある程度の時間が必要なことから地域包括ケア病床にて自宅復帰に向けての準備を行うことで円滑に退院後の生活が送れるようにしてまいります。

○将来の方向性

今後も地域のニーズに対応できるよう病院機能を充実させていきたいと考えております。